

第190回 教育研究評議会 要 録

日 時 令和2年12月16日(水) 13時00分～14時20分
場 所 遠隔会議：応接会議室，各研究室等
出席者 今岡学長，藤原理事，小路田理事，小川理事，野村理事，平井理事，河本副学長，成瀬副学長，
三成副学長，吉村副学長，安田副学長，久保副学長，野村文学部長，渡邊理学部長，
黒子生活環境学部長，高田人間文化総合科学研究科長，石崎評議員，中山満子評議員，
棚瀬評議員，山内評議員，中山徹評議員，林井評議員，柳澤評議員
列席者 三野監事，福田監事，岩阪事務局次長／総務・企画課長，桑原国際課長，川村研究協力課長，
林財務課長，清水施設企画課長，鱸学務課長，西村学生生活課長，早川入試課長，
横井学術情報課長

議事に先立ち，

- (1) 学長より，令和3年4月1日からの次期学長候補者として再任されたことに伴う挨拶。
- (2) 前回の記録を確認。

I 審議事項

1. 学内諸規程等の改正等について

(1) 国立大学法人奈良女子大学学則の一部改正について

学務課長から，資料1-1により説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，役員会へ付議することとした。

財務課長から，資料1-2により説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，役員会へ付議することとした。

(2) 国立大学法人奈良女子大学における授業料その他の費用を定める規程の一部改正について

財務課長から，資料2により説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，役員会へ付議することとした。

(3) 国立大学法人奈良女子大学学術指導取扱規程の制定について

研究協力課長から，資料3により説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，令和3年4月1日付けで施行することとした。

(4) 国立大学法人奈良女子大学教育研究評議会規程の一部改正について

小路田理事から，資料4により説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，役員会へ付議することとした。

2. 令和元年度内部質保証のモニタリング結果について

小路田理事から，資料5により説明があり，評価企画室において取りまとめた令和元年度における内部質保証のモニタリング結果について，意見交換を行いたいとの提案があった。

改善が必要な事項として，①大学院人間文化研究科博士後期課程のシラバスに記載されている出席の取扱い，②成績評価の根拠となる資料の保存規程整備，③大学院の入学定員充足率の改善，④内部質保証の手順における教育計画室の役割の明確化，⑤内部質保証のモニタリングにおける点検項目の充実と統一の5点があげられた。審議の結果，②については，各部局における検討とともに教育計画室が取りまとめて全学的に検討を行うこと，③については，大学院人間文化総合科学研究科において具体的の方策を検討すること，④及び⑤については，評価企画室と教育計画室が共同で検討することを了承し，その旨を，本学における内部質保証体制に則り，評価企画室から各担当組織に対して通知することとした。な

お、①については、令和2年度分シラバスにおいてすでに改善が確認されていることから、検討事項とはしないことを確認した。

3. クロスアポイントメント制度に関する協定の締結について

事務局長から、資料6により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、役員会へ付議することとした。

4. 国際交流協定の手続き開始について

吉村副学長から、資料7により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

5. 令和3（2021）年度学年暦について

学務課長から、資料8により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

6. その他

なし

II 報告事項

1. 危機管理対策本部会議の設置について

学長から、附属中等教育学校生徒の行方不明に伴い、12月7日付けで危機管理対策本部会議を設置したこと、またその経緯について報告があり、今後、本件に関する調査結果の文部科学省への報告を提出することについて説明があった。

2. 第71回経営協議会及び第271回役員会について

学長から、資料9-1及び9-2により、11月27日に行われた経営協議会及び役員会について報告があった。

3. 奈良教育大学との連携協議について

学長から、奈良教育大学との連携協議の状況、奈良県知事への訪問及び文部科学副大臣の来訪の内容について報告があった。

4. 第4期中期目標期間における中期目標・中期計画の策定に向けて

小路田理事から、資料10により報告があった。文学部長から、「教育研究の質の向上に関する事項 1. 社会との共創」の内容について質問があり、小路田理事から、他の項目についても文部科学省に確認が必要なものがあるため、他にも質問等があれば寄せていただきたい旨の回答があった。

5. 令和元年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について

小路田理事から、資料11により報告があった。また、本学の男女共同参画に関する取組みが好事例にあがる予定である旨の説明があった。

6. 大学機関別認証評価について

小路田理事から、12月3日に行われた大学機関別認証評価の訪問調査において3点の指摘事項が示され、そのうち内部質保証に関する2点の指摘事項については本日の教育研究評議会の審議事項1（4）及び2で対応する旨の説明があった。

7. 年次基礎データ集の作成について

小路田理事から、資料12により報告があった。また、学部から博士前期課程への進学率が高い傾向

が分析できたこと，それを博士後期課程への進学にどう繋げていくかが課題であるとの発言があった。

8. 日本学術振興会特別研究員学内説明会について
研究協力課長から，資料13により報告があった。
9. 令和2年度下市町×大和・紀伊半島学研究所連携シンポジウムについて
研究協力課長から，資料14により報告があった。
10. 第18回研究フォーラム「「知」の現場から提言ーコロナ禍における人・社会・自然の変容をめぐってー」について
研究協力課長から，資料15により報告があった。
11. その他
事務局長から，令和3年新年互礼会はオンライン配信で開催することの報告があった。また，詳細は別途案内するとの説明があった。

以 上